

(JASDAQ 証券コード: 4243)

株式会社ニックス
平成20年9月期(中間)
決算説明会

www.nix.co.jp



2008年5月28日

CONTENTS

1

平成20年9月期中間決算総括

2

平成20年9月期通期業績予想

3

下期の重点施策

ページ番号は左下にふっております

平成20年9月期中間業績予想の修正(連結)

＜平成20年9月期 中間期業績予想修正 2008.5.9＞

(単位:百万円)

	連結		個別		増減率	
	修正後	当初予想	修正後	当初予想	連結	個別
売上高	2,329	2,534	2,244	2,444	▲8.1%	▲8.2%
営業利益	96	237	89	238	▲59.5%	▲62.6%
経常利益	89	227	69	229	▲60.8%	▲69.9%
当期純利益	47	124	30	126	▲62.1%	▲76.2%

【上期要因】

＜売上＞

- ・複写機などの**事務機器業界**における、**1月以降の急激な減産**によるプラスチック・ファスナーの売上低迷
- ・**住宅設備業界**における、集合住宅をはじめとする**不動産市況の低迷**による給湯設備用プラスチック継手の売上低迷
- ・製造業全体の**設備投資抑制**に起因した産業機器業界向けの**工作機械用プラスチック・ファスナー、機構部品**などの売上低迷 etc.

＜損益面＞

- ・**売上高減少**
- ・製品の**値下げ要請への対応**、
- ・原油価格高騰によるプラスチック**原料価格の上昇** etc.

平成20年9月期通期業績予想の修正(連結)

＜平成20年9月期 通期業績予想修正 2008.5.9＞

(単位:百万円)

	連結		個別		増減率	
	修正後	当初予想	修正後	当初予想	連結	個別
売上高	4,663	5,189	4,483	4,985	▲10.1%	▲10.1%
営業利益	215	509	192	499	▲57.8%	▲61.5%
経常利益	200	490	157	480	▲59.2%	▲67.3%
当期純利益	108	270	82	262	▲60.0%	▲68.7%

【通期予想】

＜売上＞

- ・引き続き国内生産設備業界でのマガジンラック売上は堅調を維持するものの、**米国内では設備投資抑制による売上下降方向**
- ・事務機器業界においては、**米国向け複写機の生産数下方修正**
- ・住宅設備業界における改正建築基準法施行による**住宅着工件数の低迷** etc.

＜損益面＞

- ・**上期の損益悪化要因**が下期も継続
- ・為替水準が円高で推移することによる**輸出取引の収益悪化、価格競争による収益悪化**
- ・当社独自のプラスチック素材開発などの基礎研究や新規開発案件のための**研究開発費の増加** etc.

平成20年9月期中間決算総括(連結)

(単位:百万円)

	H20/9期 中間実績	H19/9期 中間実績	実績 増減	増減率
売上高	2,329	2,476	▲147	▲5.9%
営業利益	84	335	▲251	▲74.9%
経常利益	81	310	▲229	▲73.9%
当期純利益	41	151	▲110	▲72.8%
1株当たり純利益(円)	18.57円	82.81円	▲64.24円	▲77.6%

●売上減の要因:

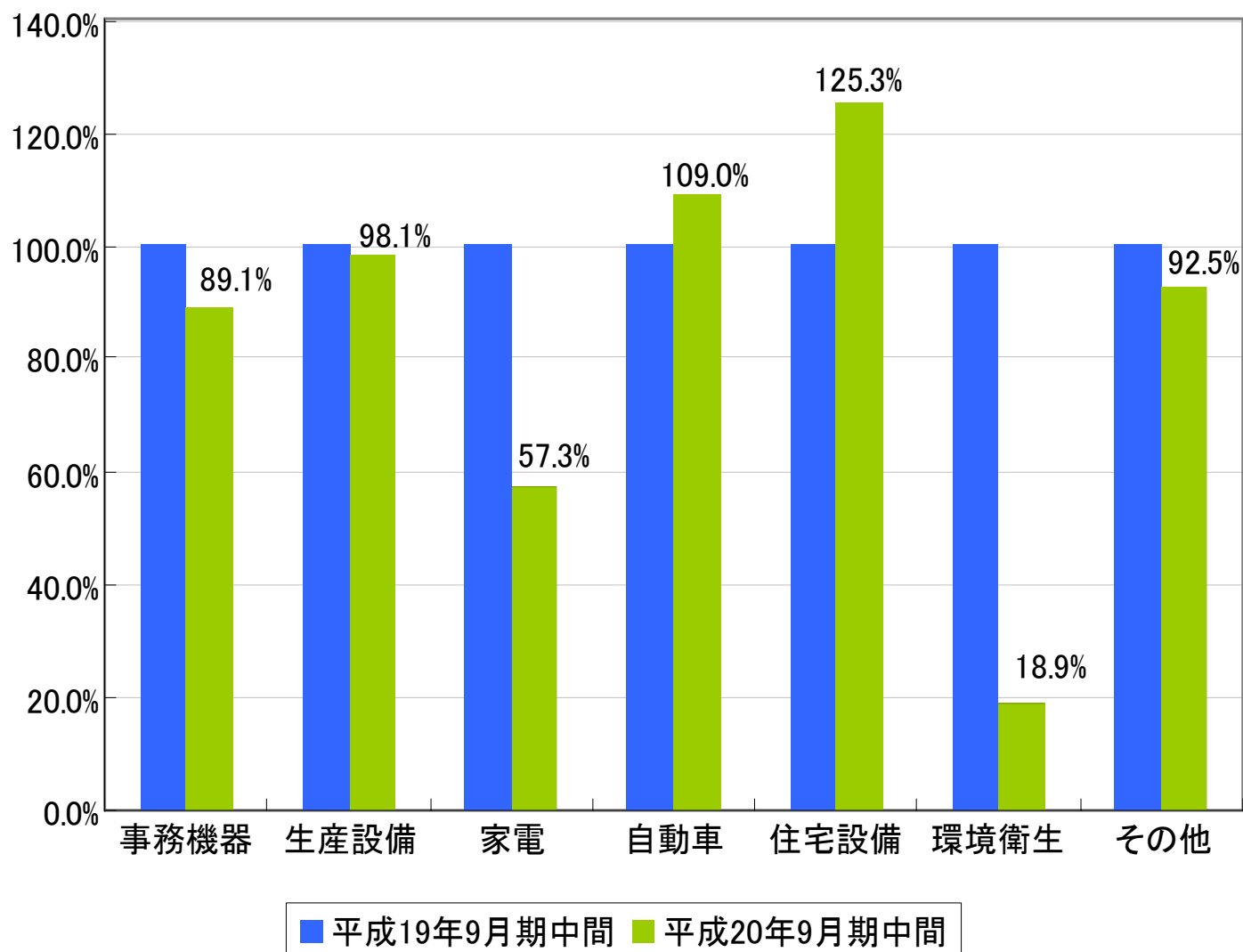
- ・住宅設備業界の給湯設備用プラスチック継手などで前年同期比約40百万円プラスとなるも、当初計画からは約30%の売上ダウン
- ・複写機などの事務機器業界の主力顧客の1月以降の急激な減産により、前年同期比約60百万円マイナス
- ・産業機器業界における設備投資抑制による工作機械用プラスチック・ファスナー、また、映像関連機器業界向けの機構部品ほかで前年同期比約1億円マイナス

●損益面の要因

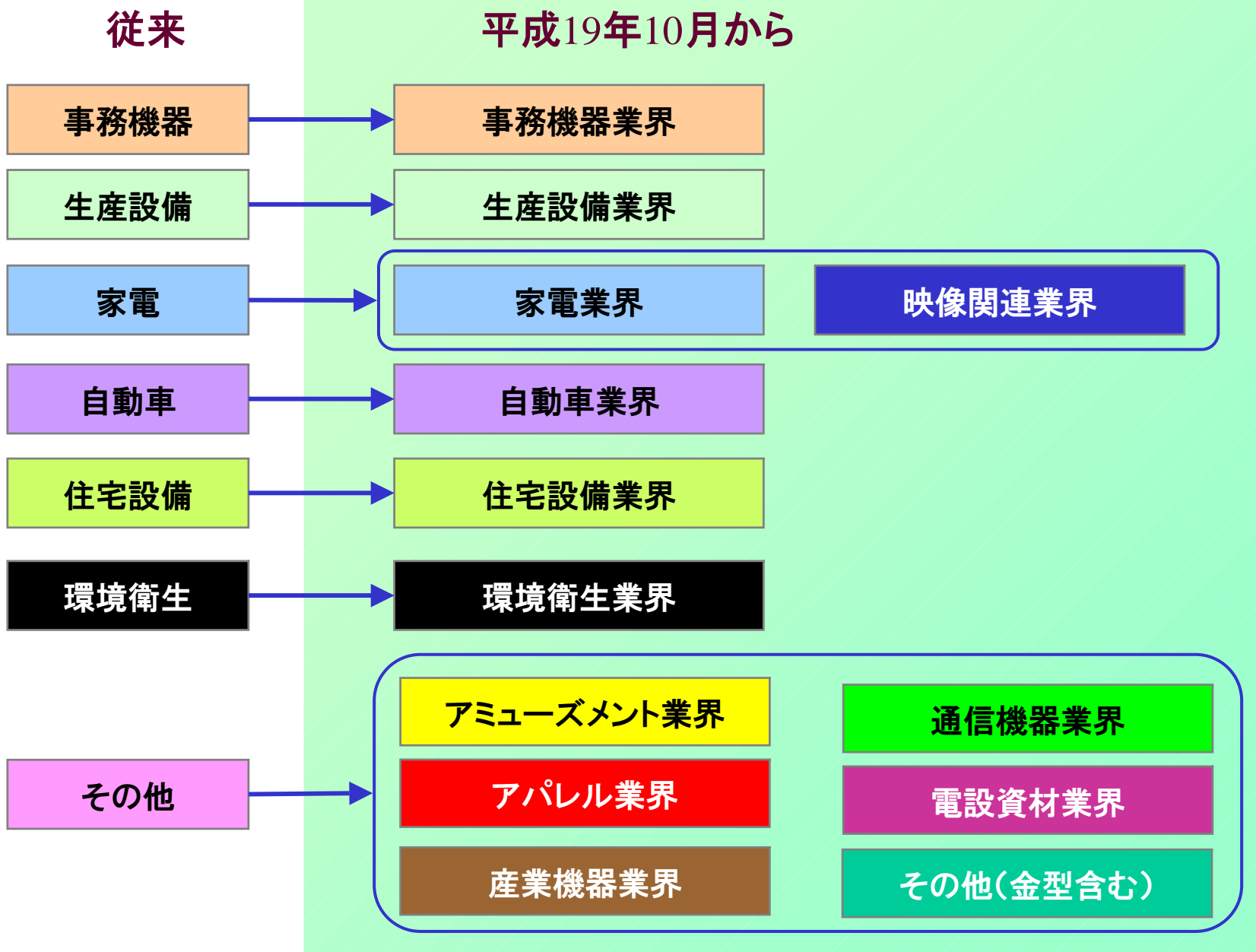
- ・高付加価値製品を含む売上ダウン、値下げ要請への対応ほかによる売上総利益率の低下(マイナス)
- ・広告宣伝費、外部委託費用など営業経費節減(プラス)

● 売上マーケット別(中間期)前年度比増減(連結)

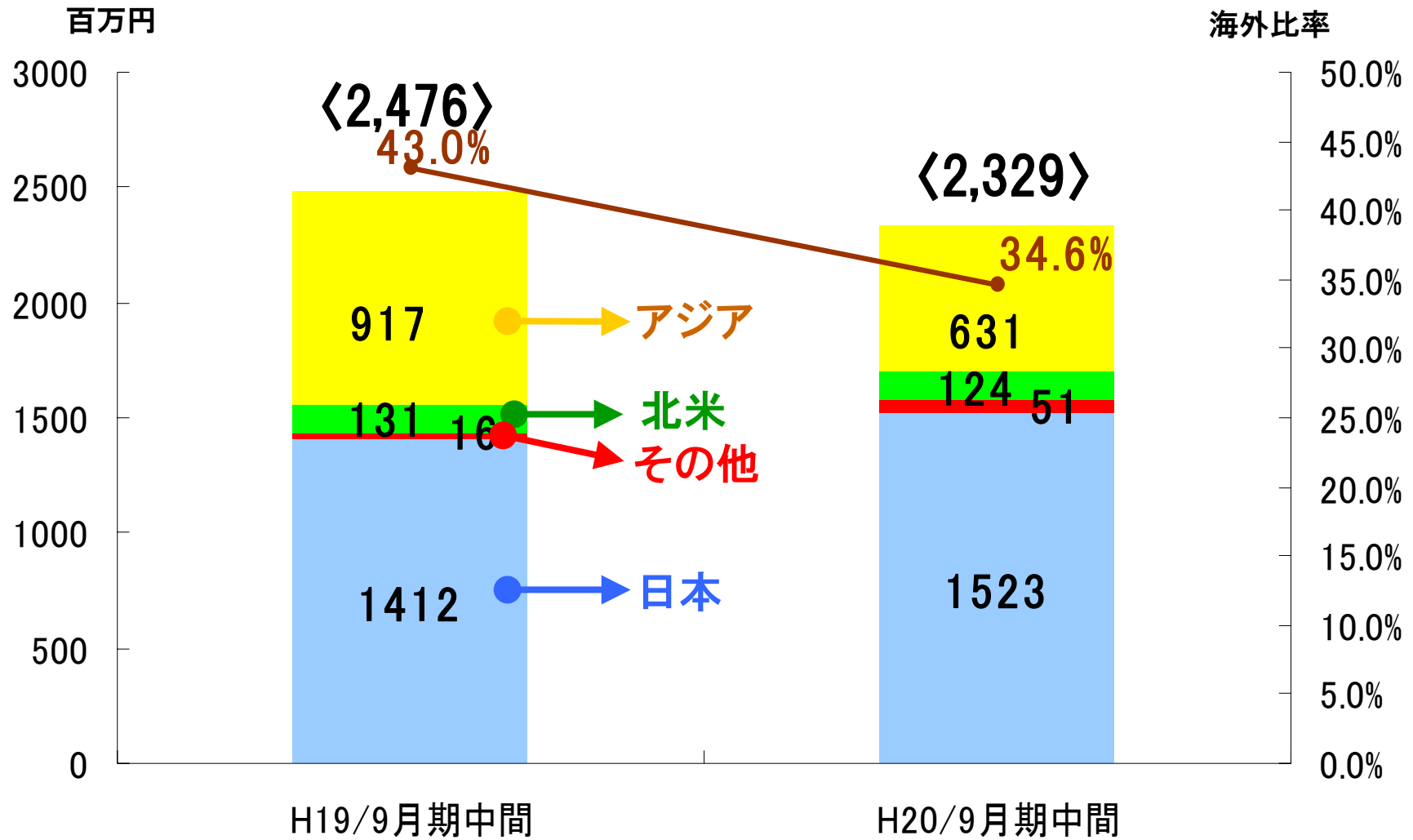
H19/9期中間実績を100とする



● 売上マーケット構成(新)

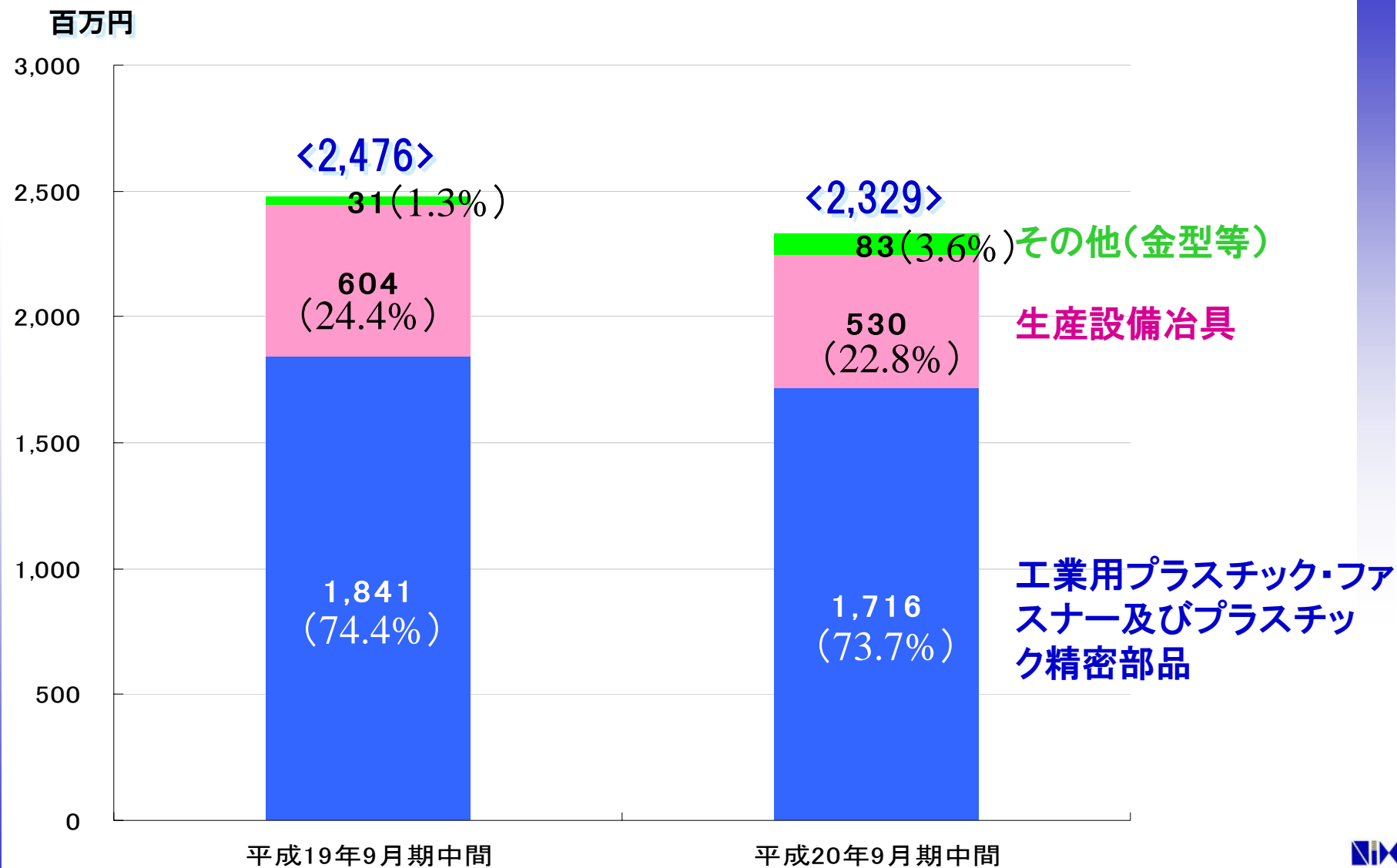


売上高実績推移<連結:地域別>

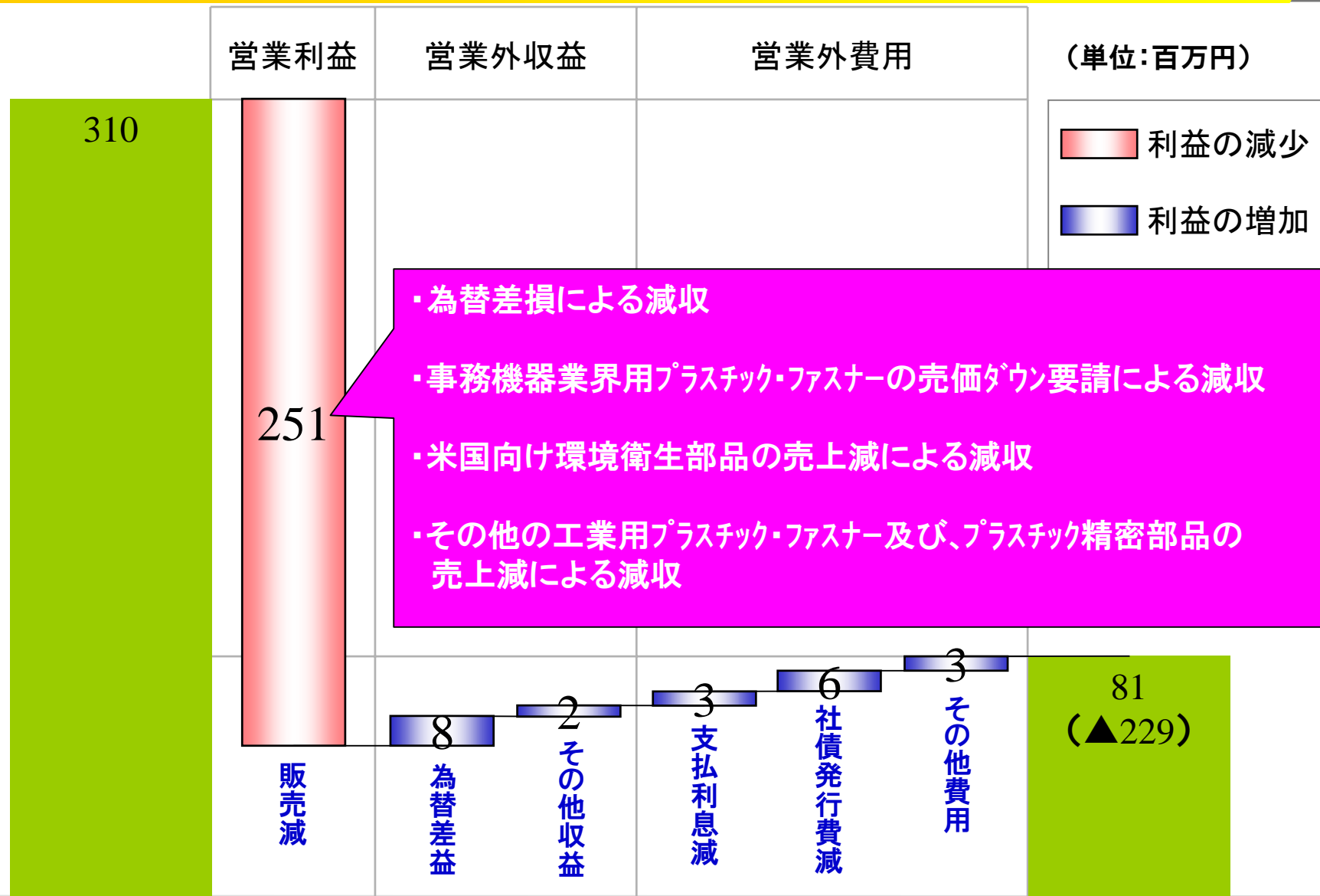


日本 その他 北米 アジア 海外比率

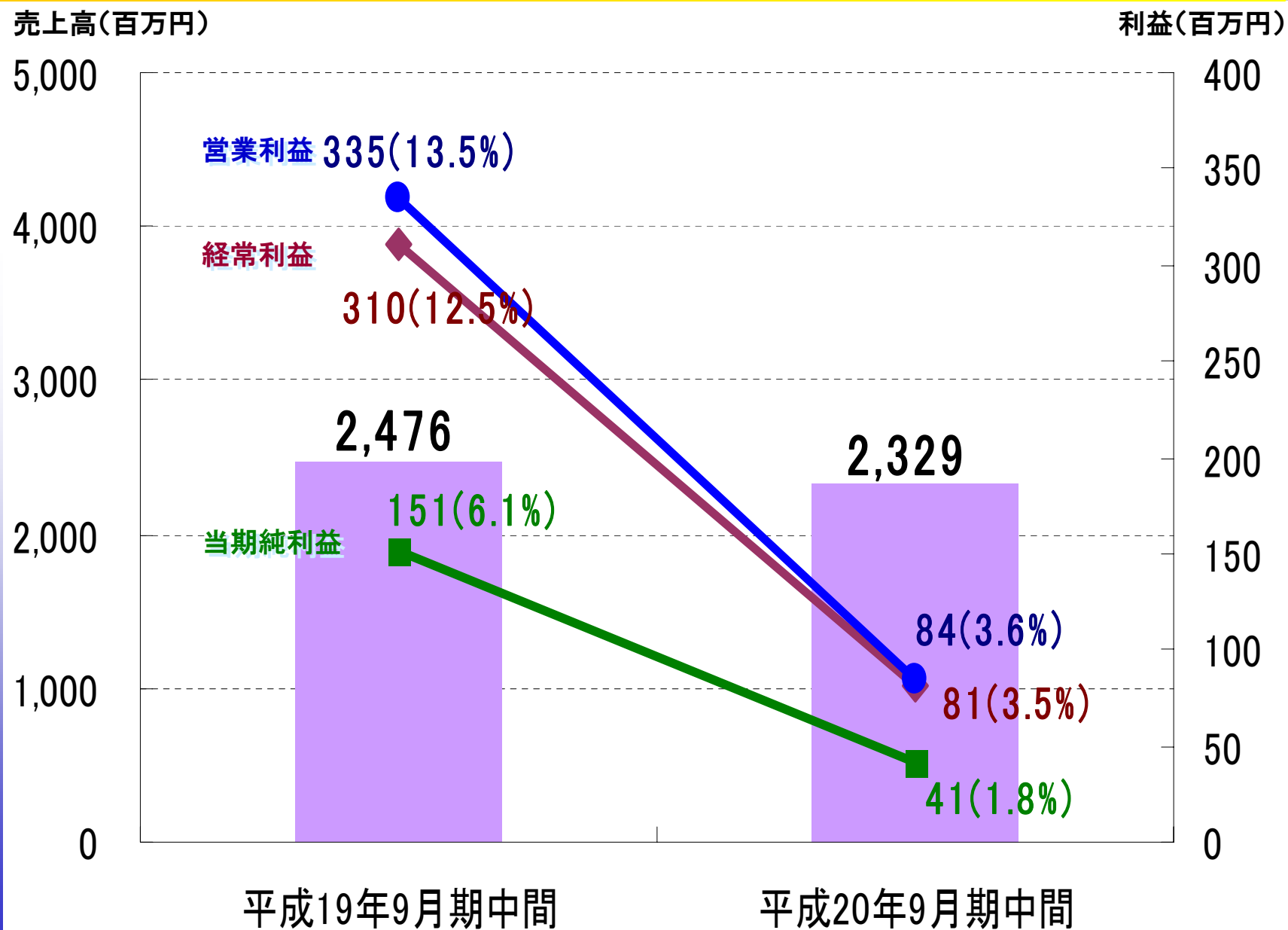
製品別売上高構成(連結)



● 経常利益増減要因(前年度中間実績比)



● 売上高／利益実績推移(連結)



● 中間連結貸借対照表概要

(単位:百万円)

	H20/9期 3/31	H19/9期 9/30	増減 金額	増減比
流動資産合計①	2,442	2,862	▲420	▲14.7%
固定資産合計②	2,745	2,804	▲59	▲2.1%
資産合計	5,186	5,666	▲480	▲8.5%
流動負債③	1,287	1,789	▲502	▲25.1%
固定負債④	1,390	1,400	▲10	▲0.7%
負債合計	2,676	3,189	▲513	▲16.1%
純資産合計	2,510	2,477	33	1.3%
負債及び純資産合計	5,186	5,666	▲480	▲8.5%

POINT

- ①
- ・ 現金及び預金 665百万円減
 - ・ 受取手形及び売掛金 83百万円減
 - ・ 有価証券 300百万円増

- ③
- ・ 支払手形及び買掛金 66百万円減
 - ・ 一年以内返済予定の長期借入金 122百万円減
 - ・ 一年以内償還予定の社債 300百万円減

- ②
- ・ 有形固定資産 57百万円減

- ④
- ・ 社債 70百万円増
 - ・ 長期借入金 65百万円減

平成20年9月期業績予想(連結)

(単位:百万円)

	平成19年9月期実績			平成20年9月期(予想)			増減率(H19.9比)
	上期	下期	通期	上期 (実績)	下期	通期	通期
売上高	2,476	2,490	4,966	2,329	2,334	4,663	▲6.1%
営業利益	335	150	485	84	131	215	▲55.7%
経常利益	310	166	476	81	119	200	▲58.0%
当期純利益	151	114	265	41	67	108	▲59.2%
1株当たり純利益(円)	82.81	-	142.9	18.57	-	47.92	▲66.5%

●売上減の予想要因:

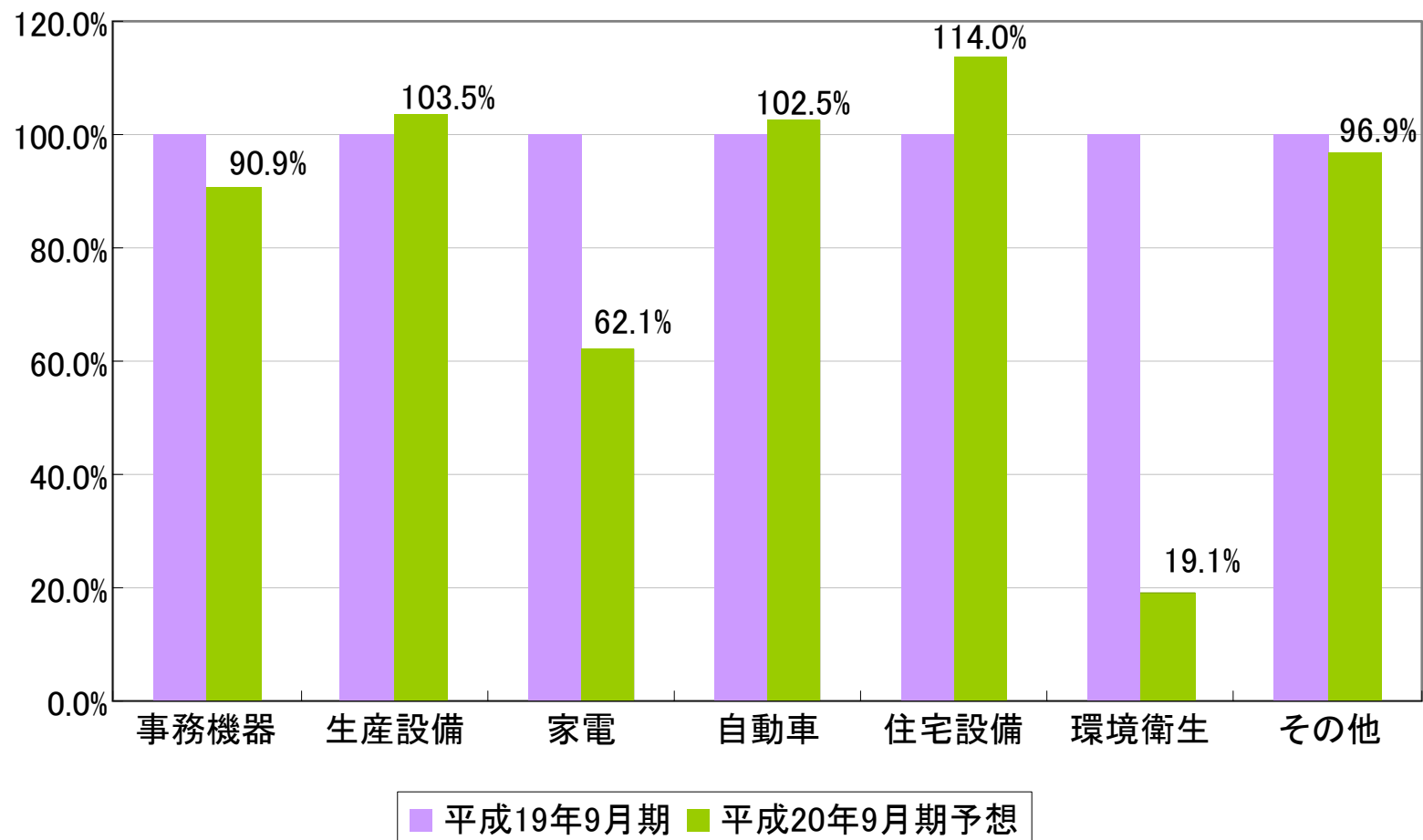
- ・生産設備治具(マガジンラック):
国内は堅調なるも、米国向けは設備投資抑制による減産が予想される
- ・工業用プラスチック・ファスナー及びプラスチック精密部品:
米国向け複写機の生産数下方修正
改正建築基準法施行による住宅着工件数の低迷

●損益面の予想要因

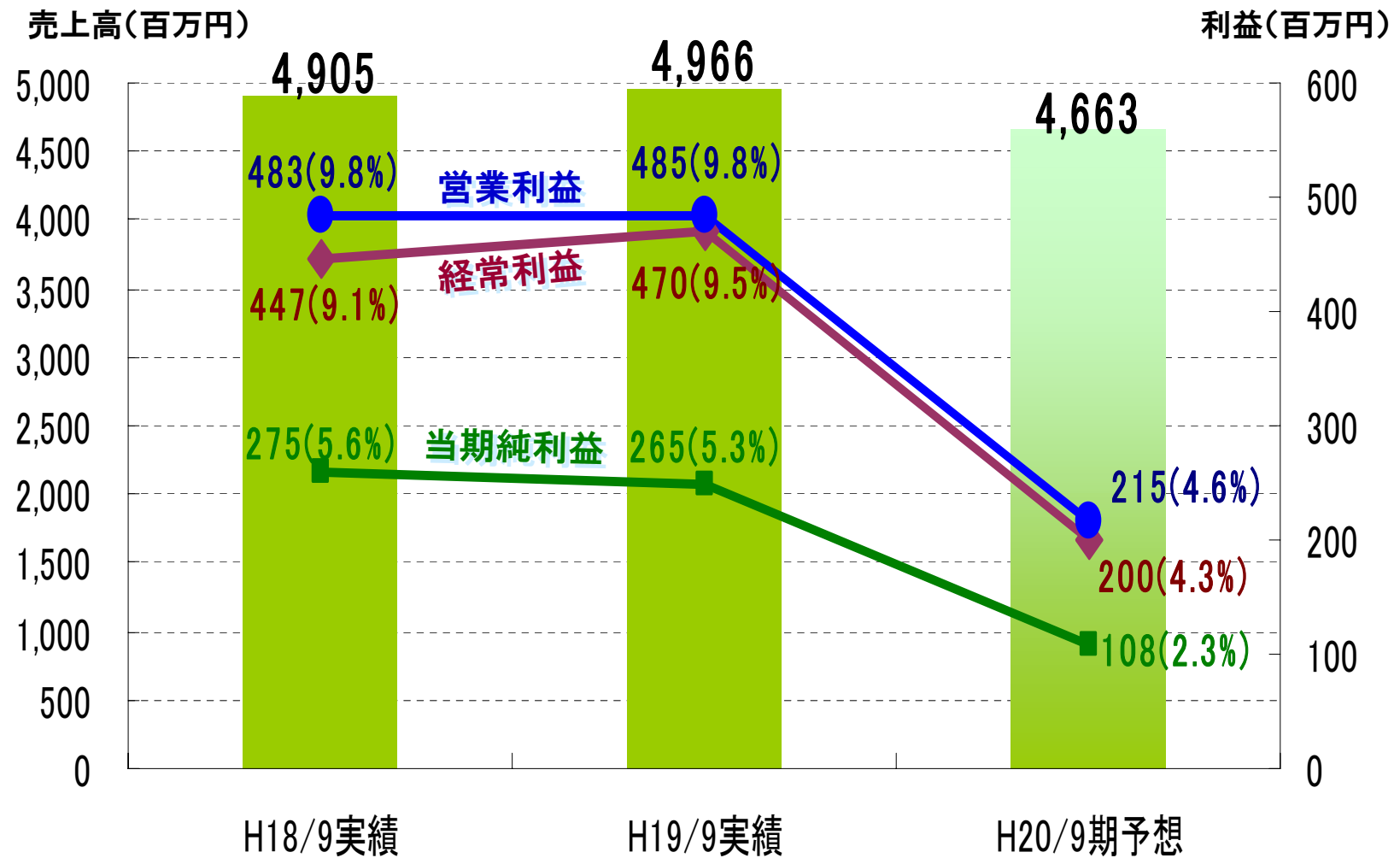
- ・円高による輸出取引の収益悪化
- ・価格競争による収益悪化
- ・素材開発や新規案件のための研究開発費の増加

売上マーケット構成推移予想(連結)

H19/9期実績を100とする

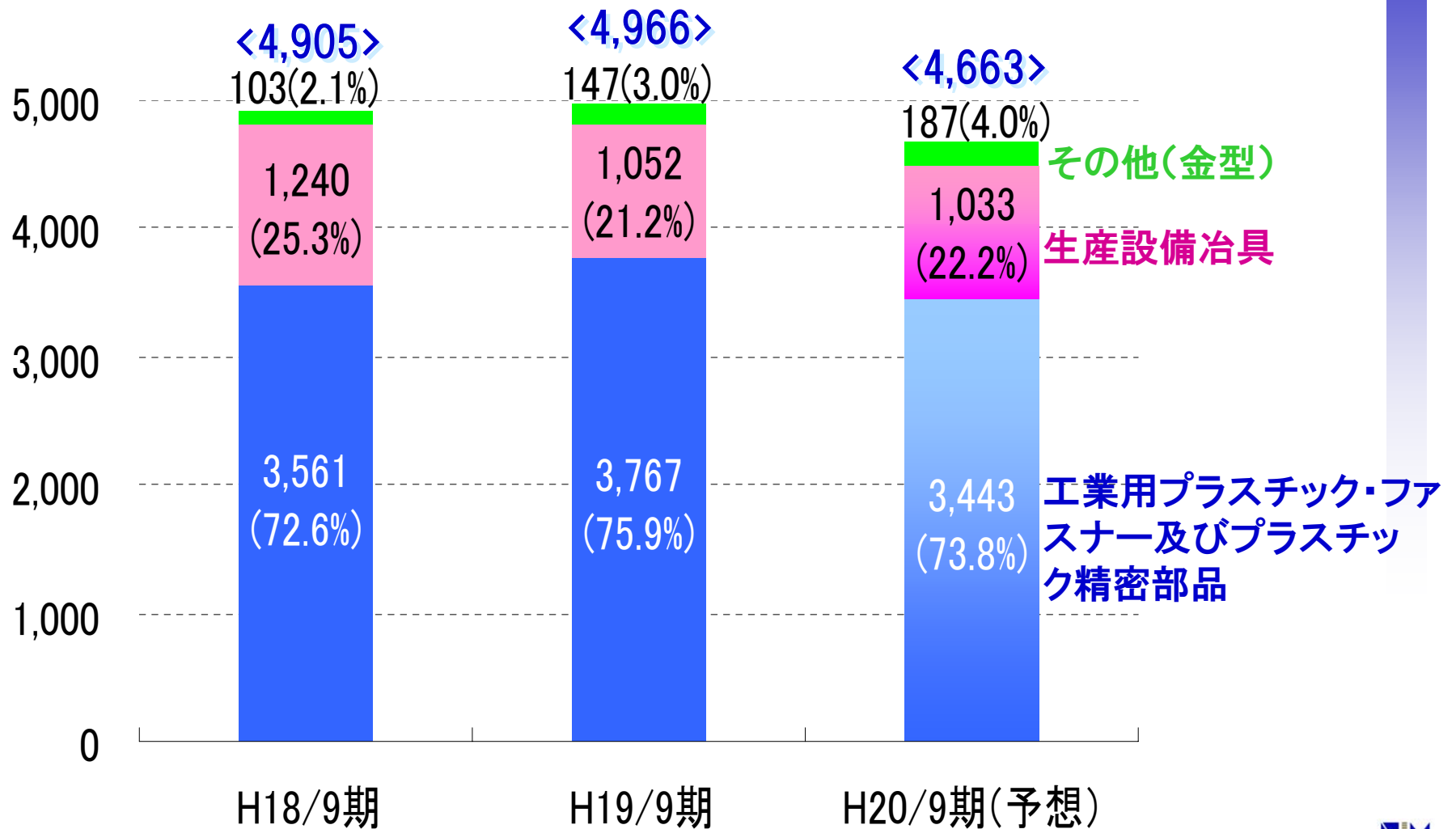


● 売上高予想(連結)



製品別売上高構成(連結)

百万円



●ご採用頂いている主なエンドユーザー様

敬称略、順不同

事務機器業界	キヤノン リコー ソニー 富士ゼロックス コニカミノルタ 松下電器 三菱電機 エプソン カシオ
生産設備業界	デンソー ケーヒン カルソニックカンセイ ボッシュ パナソニック パイオニア 日立
家電業界	松下電器 三菱電機 ダイキン 三洋電機
映像関連業界	日立 ソニー エプソン 松下電器 三菱電機
自動車業界	三桜工業 市光工業 日産自動車 カルソニックカンセイ 日本フルハーフ
住宅設備業界	INAX リンナイ 東京ガス 長府製作所 古河電工
環境衛生業界	コカコーラ ペプシコーラ アペックス ジャパンビバレッジ
電設資材業界	因幡電機産業 協立電業 三和 三和電材
産業機器業界	ヤマザキマザック 東芝機械 オークマ
通信機器業界	富士通 日立製作所 沖電気
衣料業界	トリンプ・インターナショナル・ジャパン

3

下期の重点施策と今後の戦略

(1) 下期重点施策

プラスチックファスナー・プラスチック精密部品

- ・国内新規顧客開拓のさらなる拡大
- ・中国現地製販体制の活用による拡販活動強化
- ・より高い耐久性、環境対応強化の新製品開発に注力

オリジナルプラスチック素材 (NIXAM®)

- ・防虫忌避効果を特徴としたARINIX®製品の国内及び北米での拡販
- ・燃料電池部品への応用
- ・住宅設備業界用配管ユニットの拡販

生産設備治具

- ・マガジンラックに加え、3点セットのソリューション製品の国内外での拡販継続

海外拠点

- ・欧州拠点設立に向け市場環境調査

＜プラスチックファスナー・プラスチック精密部品＞

新規顧客開拓

弊社が優良資材納入業者認定を受けた商社側営業部門と一体となった活動を開始

中国現地製販体制

2007年度に整備した現地成形メーカーと香港拠点一体となり、競合他社の値下げ攻勢加速に対応

新製品開発

既存製品のリニューアル(小型化・リサイクル化)と顧客ニーズにマッチした品種増による対応

家電業界

映像関連業界

生産設備業界

自動車業界

etc.



香港日幸有限公司



<NIXAM(ニグザム)>

・ベターエンバイロメント事業部 新設

目的:環境対応分野への強化及び拡大発展

◆防虫忌避効果を特徴としたARINIX®製品の拡販

→ 国内及び北米での拡販



<国内向けARINIXキット>



<北米向けARINIXキット>

◆燃料電池部品への応用

モバイル機器用
(コネクタ部品、カートリッジ部品)



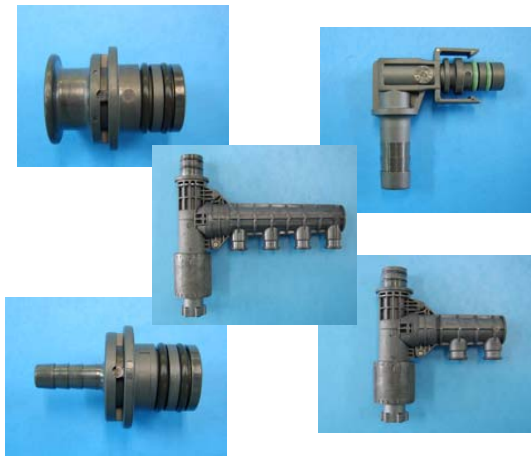
電気自動車用
カートリッジ部品



<NIXAM(ニグザム)>

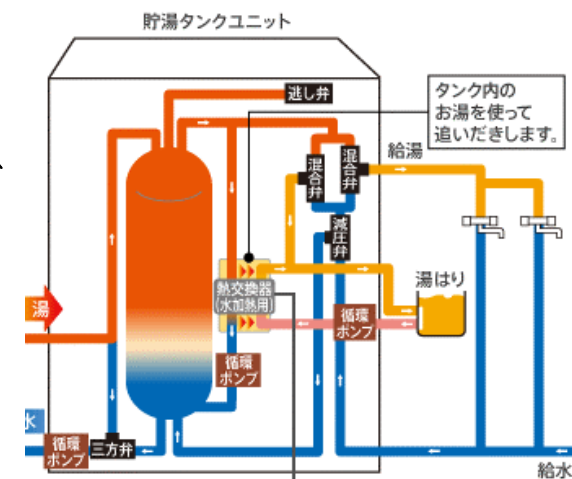
・NIXAMテクノロジーセンター 新設

目的:オリジナルプラスチック素材開発などの基礎研究開発強化



・住宅設備業界用ジョイントの拡販

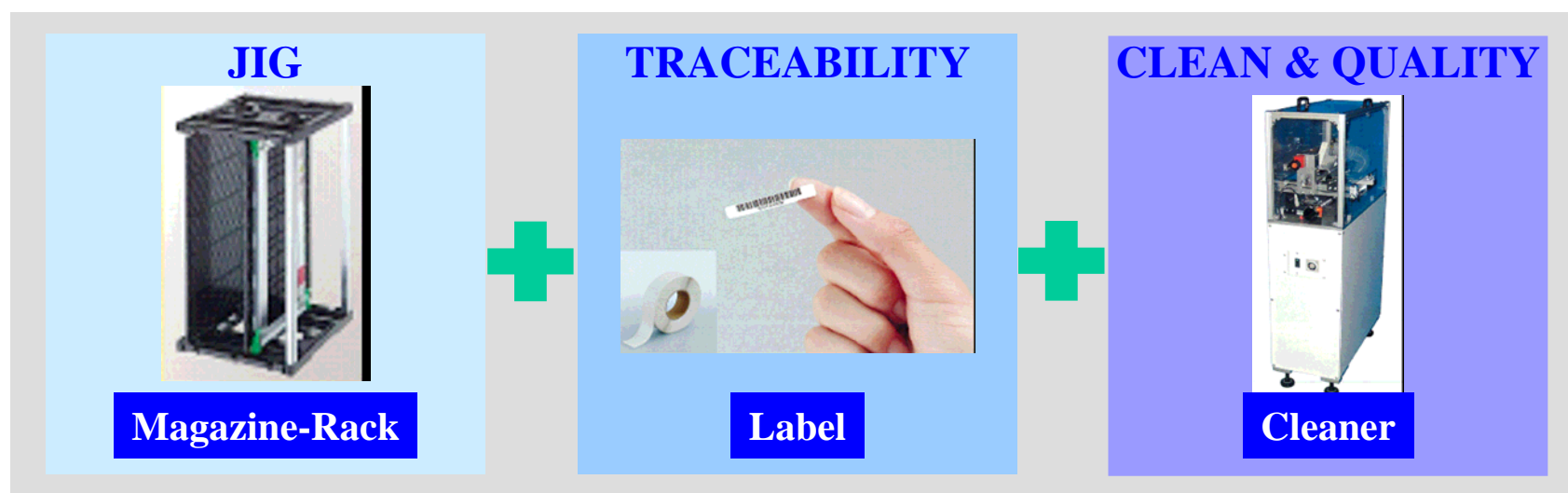
→ 部品単体販売に加え、配管ユニット販売の強化



● <生産設備・治具>

・国内外での拡販強化

国内：マガジンラック単体に加え、3点セットのソリューション製品の拡販



海外：特に欧州での拡販強化

※ 競合他社に比べ、「操作性」・「耐熱性」で優位



Productronica 2007 (in Germany)へ出展

＜海外拠点強化＞

・欧州で拠点設立

※ 人材は確保

※ 具体的市場環境の調査を継続中

- ・生産設備・治具(マガシンラック)の拡販
- ・住宅設備市場および旧東欧地域での家電市場への

参入視野に



おわりに

NIXは、
“キラリと光る技術によってお客様の製品を
陰からデザインする価値創造企業”として

「オンリーワン製品」による、イノベーティブ・ソリューションを提供し、

「Made in Japan」を、世界のマーケットに展開すべく

これからも努力を続けてまいりますので、
どうぞ宜しくお願い申し上げます

ご清聴有難うございました



＜お問い合わせ先＞

株式会社ニックス

管理本部 本部長： 先本孝志

TEL : 045-221-2001 FAX : 045-221-1230

E-mail : 2ixir@nix.co.jp

NIXウェブサイト www.nix.co.jp

ニックス

検索

MEMO

